

## 第 2 回『上手・適正な保険請求の為のセミナー』 [アンケート]

本日はお忙しい中、本セミナーにご参加いただき誠にありがとうございました。  
今後もよりよきセミナー開設の為、下記アンケートへのご協力よろしくお願い致します。

氏 名： \_\_\_\_\_

該当する口に✓を付けて下さい。

①業界団体に加入していますか？ 未記入 2

□加入している 45(業界団体名： 別 紙 ) □加入していない(個人請求) 19

②先生の治療経験年数は、何年になりますか？ 未記入 1

□未経験 1 □2 年未満 3 □4 年未満 4 □6 年未満 5 □6 年以上 52

③今回本セミナーにご参加の動機は何ですか？ 未記入 1

□DM が届いたので 39 □JB のホームページを見て 3 □先輩・友人等に誘われて 11

□その他 ( 別 紙 ) 12

④1)『レセプトの返戻防止対策』について 未記入 3

□大変よかった 15 □よかった 23 □普 通 17 □あまりよくなかった 4 □期待はずれだった 4

⑤2)『療養費の問題点とあり方』について 未記入 2

□大変よかった 18 □よかった 28 □普 通 14 □あまりよくなかった 3 □期待はずれだった 1

⑥3)『療養費の審査基準の運用について(討論会)』について 未記入 5

□大変よかった 16 □よかった 31 □普 通 11 □あまりよくなかった 2 □期待はずれだった 1

⑦このようなセミナーに、もう一度参加したいと思いますか？ 未記入 2

□参加したい 61 □参加したくない どちらでもない 3

⑧このようなセミナーで、他に勉強したいことはどんなことですか？具体的にご記入下さい。

( 別 紙 )

⑨今、この業界に関してもっとも知りたいと思うことはどんなことですか？

具体的にご記入ください。

( 別 紙 )

⑩その他、セミナーに関するご意見・ご要望がありましたらご記入下さい。

( 別 紙 )

⑪“患者と柔整師の会”及びJB日本接骨師会の、柔道整復師療養費の改善改革活動について  
ご存知ですか？ 未記入 4

□良く知っている 28 □聞いたことはある 15 □全然知らない 19

主催団体：“患者と柔整師の会”  
共催団体（順不同）：一般社団法人柔整真進会、中部柔整師協会、さくら接骨師会  
大日本柔道整復師協会、一般社団法人日本整復師会

ご協力ありがとうございました。お帰りの際に受付のスタッフまでご提出ください。

① 業界団体に加入していますか？（業界団体名）

- ・ 社団 JB 日本接骨師会 11 名
- ・ 中部柔整師協会 6 名
- ・ (協) NSK 保険協会 5 名
- ・ (協) 中央接骨師会 3 名
- ・ 柔道整復師会 (協) 3 名
- ・ 公益社団法人 愛知県柔道整復師会 3 名
- ・ 日本柔道整骨師会 2 名
- ・ 第一日本接骨師会 1 名
- ・ さくら接骨師会 1 名
- ・ あさひ接骨師会 1 名
- ・ 一般社団法人 柔整真進会 1 名
- ・ (協) 日本接骨師会 1 名
- ・ アトラ請求サービス 1 名
- ・ (協) 滋賀県接骨師会 1 名

③ 今回本セミナーにご参加の動機はなんですか？（その他）

- ・ JB を通じて 2 名
- ・ JB 会員に誘われて 2 名
- ・ 加入団体を通じて 3 名

⑧ このようなセミナーで、他に勉強したいことはどんなことですか？

- ・ 亜急性の概念について。
- ・ 労災について。
- ・ 労災についても聞きたいです。
- ・ 傷病名の問題について。
- ・ 交通事故の対応（一保険者との）
- ・ 患者照会に対して効果的な手の打ち方。
- ・ 外傷のものと医師と PT 学が一緒にできるセミナーで勉強をしたいです。
- ・ 治療技術に関する事など。
- ・ グレーゾーンの判断基準に対して色々な立場の方の意見を聞きたい。
- ・ 理想的なカルテ記載の仕方。
- ・ 現場での対応の仕方を具体的に。
- ・ 現行の制度では厳しい。根本改革が必要。

ご協力ありがとうございました。お帰りの際に受付のスタッフまでご提出ください。

- ・患者の接骨院に対する知識と接骨院で出来ることがあまりにもかけはなれている為、今後それをどうしたらいいか。
- ・柔整、鍼灸、あん摩の業界でもコンプライアンス（法令遵守）は絶対かと思われます。現在の法的に保険請求（療養費として）できないものも、請求している方が多いと思われます。そこにおいての適正化という事をご指導して頂ければと思ひます。
- ・最近の柔整界の情報（特に保険請求について）を知りたかった。
- ・ある程度の方向性を示して終了して頂きたい。
- ・本来は団体会員として活動すれば業界状況（情報）が良く分かりますが、情報が少ないのでそのような勉強をさせて頂ければと思ひています。
- ・療養費請求（申請）において、どの団体に加入したら良いか、その団体の特徴や内容について。長短を。
- ・療養費の改訂について。
- ・今回のセミナーの講義では患者自身に触れた内容が少ないです。ライフスタイルの多様化によりただ外傷の施術で療養費が打ち切らざる得ない制度に問題があります。外傷後の ADL 回復まで本来きちんとした生活の改善、患者の望むゴールまでの施術は本来の外傷の治療、施術のゴールラインであると思ひます。ただ療養費の問題点としてはなく、患者が社会復帰まで支えられるようにすべきかといった話をして頂きたい。

## ⑨今、この業界に関してもっとも知りたいと思うことはどんなことですか？

- ・療養費の改定はどのように決定されているのか。
- ・行政への取り組みについて、業界統一に向けての活動について。
- ・マルメや一部位請求の是非について
- ・1 か月 15 日以上はなぜいけないのか。これから文章能力が必要になりそうで心配。
- ・有資格者が増加する傾向に変化はないのか。
- ・今後の展望。
- ・保険と自由診療の共存させるには。
- ・色々、まだ知らないことばかりです。
- ・国は接骨院を必要としていないのではないのか。  
この業界事態を存続させるにはどうしたらいいか。
- ・指導監査の実態、具体的な監査方法・内容について。
- ・成功している整骨院の紹介。
- ・業界活動に団体としてではなく個人として参加出来ることがあれば参加させて頂きたい事もあるかと思ひます。ご指導よろしくお願ひ申し上げます。
- ・常に現状の問題点を提起して下さり、その適正な判断の方法など。
- ・現状の 2 年の活動はわかりますが、次回 26 年、28 年についてはどうなのでしょう。

ご協力ありがとうございました。お帰りの際に受付のスタッフまでご提出ください。

- ・患者照会に関して、フェアな内容で送付して下さる様にしてほしいと思います。

## ⑩その他、セミナーに関するご意見・ご要望

- ・質疑応答の時間をもっと増やしてほしい。
- ・様々な考え方を開くことが出来、大変勉強になりました。  
(いつも同じ会の内での話ばかりですの…)
- ・不正請求の出来ない対策の検討。
- ・この様な勉強会は我々の会にはありません。とても楽しく消化できる時間でした。  
そして切り込んだお話も聞け、我々の会には無いもので良い席でした。
- ・自費をススメている感じに思えた。
- ・亜急性の話が後でという事でしたが、具体的な話がもう少し聞きたかったです。
- ・近くのチェーン店の接骨院では、柔整師以外の人が施術をしている所があるので、調査を強化をする必要があるのではないか。
- ・柔整師に対して、負傷名を多くした方がいいと思います。
- ・保険者の患者紹介に対するエチケットを統一してほしい。
- ・保険者より患者さん達に正しく接骨院の掛り方を伝えてほしい。  
接骨院に行けば何でも保険を使って診てもらえると思っている人が多すぎる。
- ・進行が保険者側にかたよっている気がします。
- ・討論会の時間を長くして頂きたい。
- ・柔整師にできること、どうしたらもっと色々な事ができるようになれるか。あり方を考えたい。
- ・今回の主旨としては「上手・適正な保険請求」という事ですが、実際の保険請求上の不正・不当と判断される具体的内容の同知も必要ではないでしょうか。先生によっては不正・不当という認識がなく請求している方も多いと思います。今後の業界向上の為にも是非ご尽力下さい。
- ・セミナーでの記述をしたいので、できれば机を用意して頂きたかった。  
予算の関係でしたらごめんなさい。
- ・有意義でした。今後もよろしくお願い致します。
- ・意見や要望の前に現状をもっと理解を深めたい。
- ・このセミナーを定期的に名古屋で開催して頂きたい。
- ・患者とういう会でありながら、内容がただ支払い基準についての話に集中しています。  
患者を出すのであれば、患者の為にどうあるべきか、どう活動していくべきか、どう行政に働きかけていくべきかといった話をして頂きたいです。第三次案の内容も拝見しましたが日整と他団体をただ同格にしたいだけのように感じます。これだけ他団体が増えたのは日整に不満があるというのがありますが、正直これだけの他団体が増えている以上、各団体の上程が上手くいくようにできているだけにしか考えられません。本来変わ  
ご協力ありがとうございました。お帰りの際に受付のスタッフまでご提出ください。

平成 25 年 3 月 31 日（日）於：名古屋マリオットアソシアホテル

るのであれば、現状の他団体が日整に統合しその上で、新たな役員を作り全柔整師で支えていけばいいです。現状 PT は理学療法師会で 80%以上が一つの会に入り力をもっています。目先の利益のみを見ていることがこの柔整師全体の問題ではないでしょうか。

- 現実的、非現実的な話がありなかなか結論がない話もありました。
- 患者様があつての柔整師です。

以上

ご協力ありがとうございました。お帰りの際に受付のスタッフまでご提出ください。